

◆ 今週のコメント

- 急性脳炎の平成22年の追加報告が、1例(50歳代)あります。平成22年の累積報告数は9例で、平成15年の感染症法改正により五類の全数把握対象感染症となって以降(年間0～6例)、最も多くなっています。年齢別では、1歳未満が5例、1～5歳が2例、50歳代が2例です。病原体では、単純ヘルペスウイルスが2例(共に50歳代)、インフルエンザAH3型(5歳)、ヒトヘルペスウイルス6型(0歳)が各1例、不明が5例(うちヒトヘルペスウイルス6型が疑われるもの(0歳)が1例)です。
- 伝染性紅斑の定点当たり報告数は、0.40(16例)です。平成22年の第33週(8月16日～8月22日)以降、過去5年平均値を上回る状態が続いており、今週は、過去5年平均値の4倍の報告数となっています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は、6.97(467例)で、先週(2.73 183例)に比べ2倍以上増加しています。

◆ 全数・定点把握対象感染症の追加(チクングニア熱、薬剤耐性アシネトバクター感染症)について

平成23年1月14日付で、厚生労働省から、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令の一部を改正する施行令等についての通知がありました。改正により、平成23年2月1日から、チクングニア熱が四類感染症(全数把握対象感染症)に、薬剤耐性アシネトバクター感染症が五類の定点(基幹定点)把握対象感染症に追加されます。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 五類:急性脳炎 1例(平成22年第51週分)【平成22年の累積報告数 9例】
- 五類:梅毒(早期頭症Ⅱ期) 1例(平成22年第51週分)【平成22年の累積報告数 6例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点67, 小児科定点40, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	6.97	467
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.60	304
	② 水痘	1.53	61
	③ 流行性耳下腺炎	0.65	26
	④ 突発性発しん	0.43	17
	⑤ RSウイルス感染症	0.40	16
	⑤ 伝染性紅斑	0.40	16
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

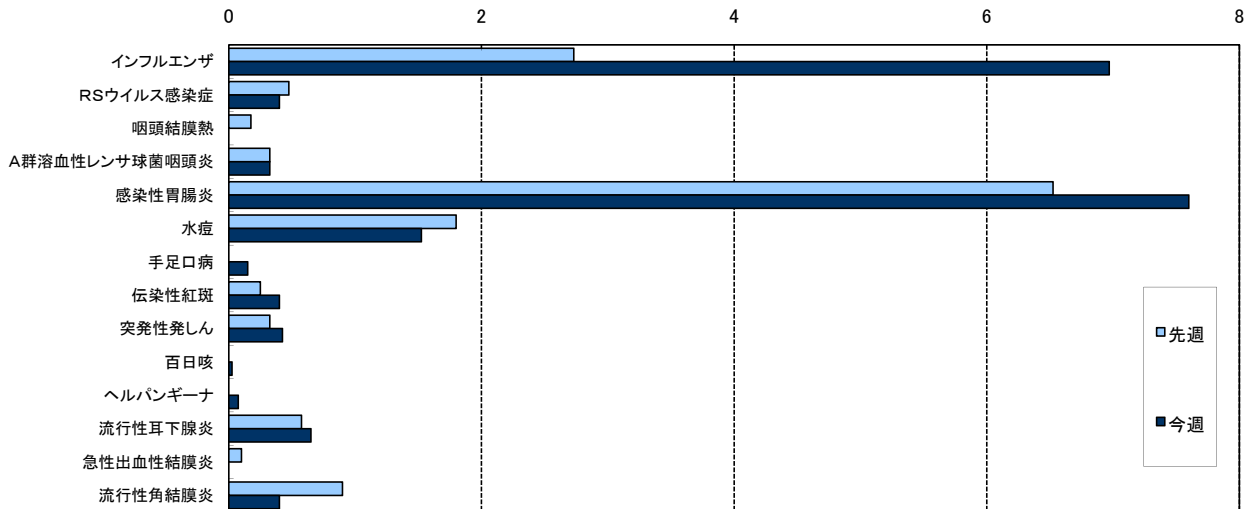
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注)京都市のデータは、平成23年1月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

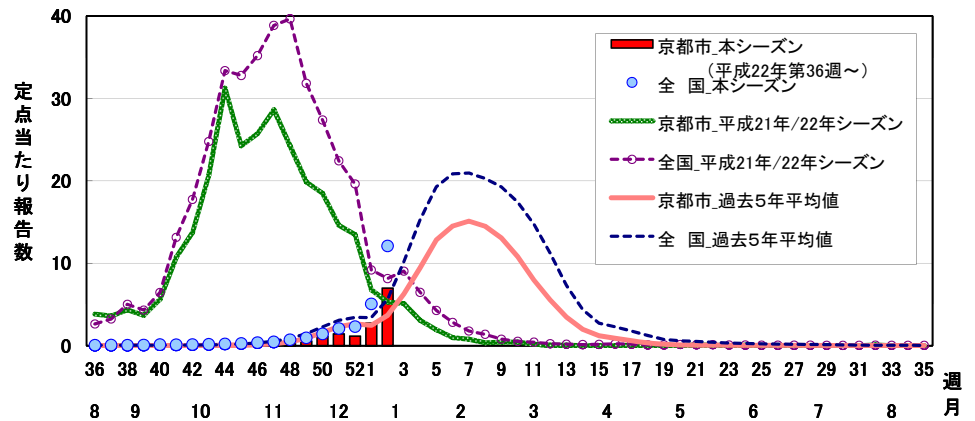
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第2週)と先週(第1週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

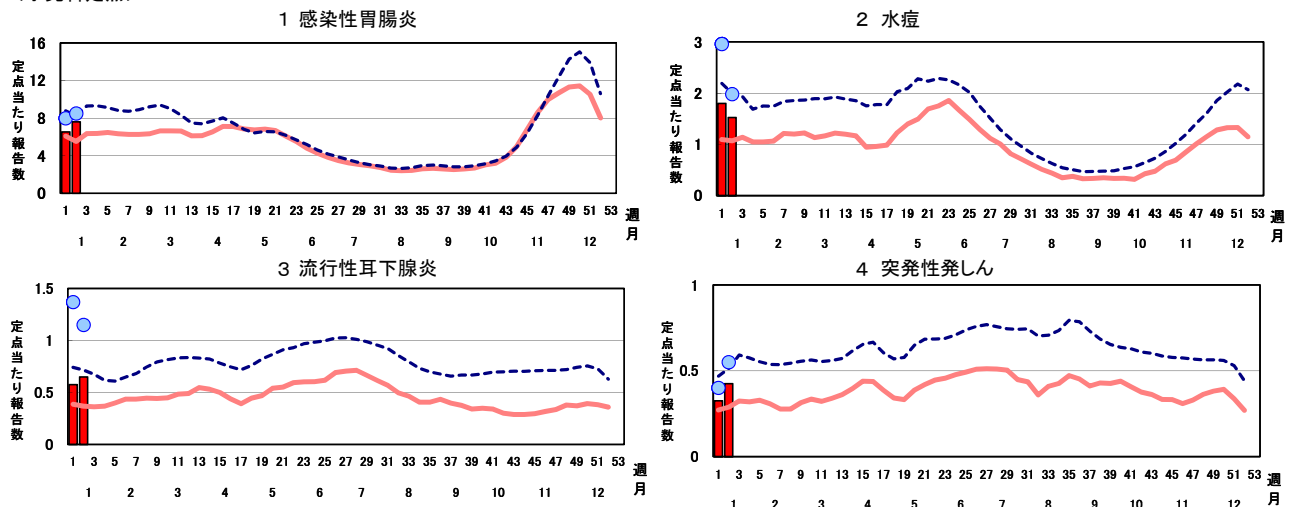
週	報告数(例)
第50週	75
第51週	94
第52週	77
第1週	183
第2週	467
累積報告数 (第36週以降)	1,028



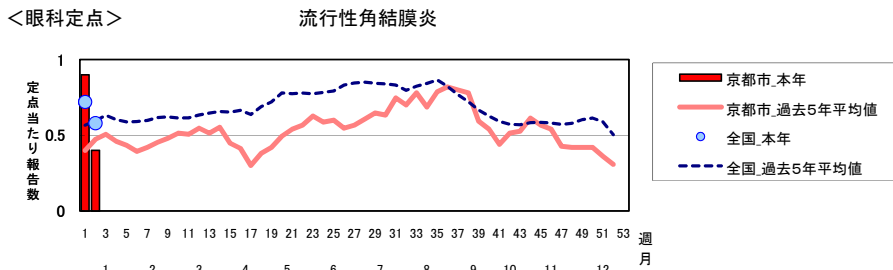
※平成21年/22年シーズンは、新型インフルエンザの発生により、例年と流行傾向が大きく異なるため、別に表記しています。

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



第2週(1月10日～1月16日)トピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は、6.97(467例)で、先週(2.73 183例)に比べ2倍以上増加しています。

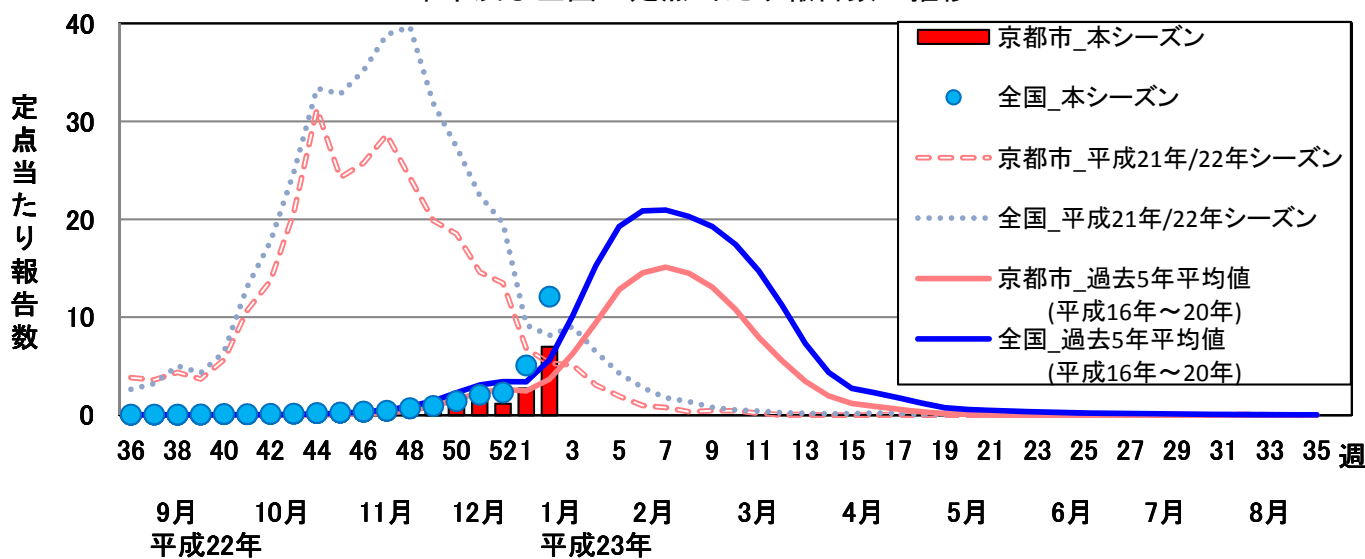
全国の定点当たり報告数は、12.09で、流行発生注意報の基準値(10.0)を超えています。京都市の行政区別報告では、すべての行政区で増加しており、東山区、南区で10.0を超えています。年齢階級別では、全国で第52週以降、20歳以上の占める割合が高くなっており、京都市でも同様となっています。

京都市衛生環境研究所では、新たにインフルエンザウイルスを、散发事例からAH1pdm 6例、集団事例からAH3型 3例(2事例)検出しており、今シーズンのインフルエンザウイルス分離検出状況は、散发事例からAH1pdm 8例、AH3型 4例 B型 1例、集団事例からAH3型 4例(3事例)、B型 6例(3事例)となっています(1月21日現在)。

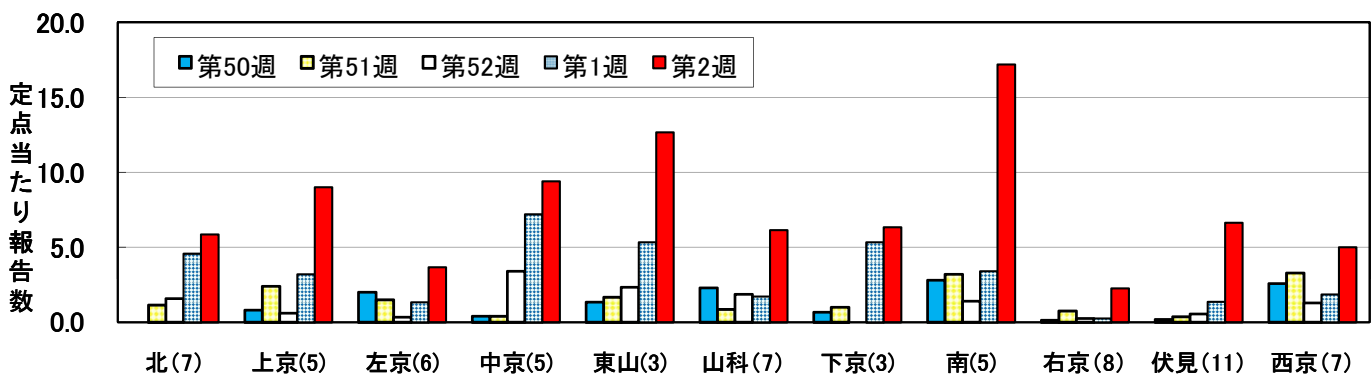
京都市のインフルエンザ発生動向について、京都市衛生環境研究所ホームページに掲載しておりますので、御参照ください。

・京都市感染症情報 【速報】インフルエンザ発生状況 <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000091724.html>

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



行政区別定点当たり報告数の推移



()内は行政区別のインフルエンザ定点医療機関数

年齢階級別割合の推移

